

SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバル

11/28に埼玉県浦和駅前にあるCORSOで

「SAITAMA環境フェア&こどもエコフェスティバル」が開催されました。埼玉県内の企業・環境団体・クラブ等がブースを設け、自分たちの活動内容を模造紙でまとめたものや、簡単な工作を通して来場者に発信していました。

今回は、参加団体の「ふじみ野エコクラブ」、「竹の子エコクラブ」今回のフェア担当である埼玉県環境政策課の山本さんにお話を伺いました。



ふじみ野エコクラブ

埼玉県ふじみ野市で活動する ふじみ野エコクラブさんは、小学生から中学生まで約15名が所属するクラブです。課外活動が多く、今年度は15回程活動する予定です。

サポーター 和田淑子さん

普段の学校生活ではやらない事を子どもたちに体験してもらおうと思っています。実際に、竹林の間伐や川の生物調査などを通して、自分たちが住んでいる街の自然に興味を持ち、新たな発見や楽しみがあると今まで活動してきて感じていました。こういう活動がその時だけでなく後々、生きていくなかで、その時感じたことがとても大切だと思っています。

サポーター 村上久美子さん

活動を始めて、14年目になります。一期生は25歳位になります。今まで卒業した子どもたちに、話を聞くと、小さい時に活動をしたことが、自分の中で大切な経験だったのだと感じる時があると聞きました。やはりこういう活動は、環境以外にも人を育む上で必要なことだと思いました。一期生の子が、その経験をもとで理科の先生に成るべく、

子どもとの接し方と環境の教育の一つのやり方を学ぶため、サポーターとして参加した時もありました。思いは受け継がれていることを実感し、長く続けることは本当にいいことだと感じました。

竹の子エコクラブ

埼玉県三芳町で活動する 竹の子エコクラブさんは、2002年から活動を開始し、40名ほどが所属するクラブです。課外活動を中心に年に15回程度活動する予定です。

埼玉県環境政策課 山本奈美枝さん

このイベントは、埼玉県内の企業・環境団体・エコクラブそして県の取組を広く一般の方に知っていただくことを目的に開催しています。今回も多くの子どもたちやその親御さんたちにお越しいただきました。これを機に環境問題に興味を持っていただければと思います。また、参加団体の方には、交流の場としても活用していただきたいと思っています。県として、これからどんなサポートが出来るかを考える良い機会でもあります。今後も、小中高生の皆さんが環境問題に関心を持ち、環境保全の活動を活発に展開していくためのサポートを続けていきたいと考えています。

編集後記

今回サポーターの方を取材しました。いろんな思いがある中で、環境の活動を通して、環境以外の部分に人として刺激も受けて成長していくこともあるんだと改めて感じました。私も自分のことを振り返ると確かにそれらの活動を通して、いろんな事が学べて後々生きてきたと感じました。私たちユースの活動を通して、人の役に立てるよう努力していこうと思います。(いっしー)

